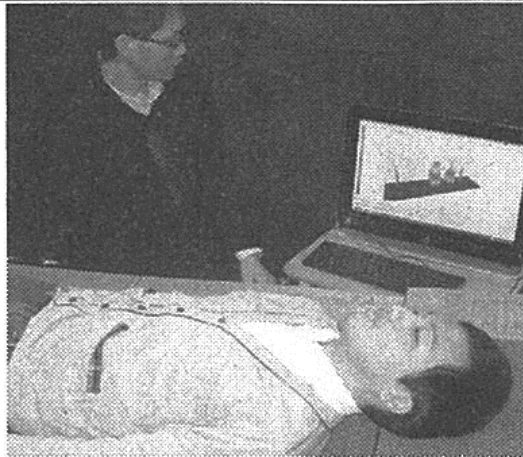


安眠ベッド個別に提案



信州大学繊維学部など産学官で構成する感性応用計測研究会は、体圧分布と沈み込みをリアルタイムに計測できる「寝姿勢計測装置」を開発した。同装置で多数のデータを収集分析し、安眠寝具を年内に完成する計画。静岡県の補助金制度を活用した。

体圧分布を立体表示

ベッドに人が寝た状況で、体圧分布と沈み込みをセンサーによって感知、計測してデータを立体的に表

信州大など計測装置開発

示する。従来は平面的な体圧分布のみの表示だった。同研究会は、信州大と長野県テクノ財団、エヌ・ウ

エーブ（長野県白馬村）などで組織。今後は、「感性工学を使って計測データをもとに個人に合った寝具を開発する」（吉田宏昭信州大学准教授）考えで、エヌ・ウエーブが計測装置技術、桜道ふとん店（静岡県御殿場市）が寝具技術をそれぞれ担当し、研究開発を進めていく。

（長野）